

〔新入会員の声〕

新入会員の声

相 良 倫 成

(全国農業協同組合連合会 畜産生産部 推進・商品開発課)

All about SWINE 63, 26-27

全国農業協同組合連合会 畜産生産部 推進・商品開発課の相良倫成と申します。

学生時代は、畜産関係の研究室に所属して、ブロイラーの肉質に関する研究をしていましたが、全農に入会からは、養豚一筋17年です。全農に入会後は、研究所や飼料会社での勤務を経て、昨年4月に現在の部署に配属となり、2年目を迎えました。

就職して最初の配属となった、全農飼料畜産中央研究所は、茨城県つくば市に所在し、母豚100頭規模のSPF農場を所有しており、自分たちで豚を飼いながら調査研究を行っています。研究所には4年間所属しましたが、養豚に関する多くの知識や経験を得ることが出来ました。配属後、最初の1年間は、農場でのデータ採取や農場管理中心の業務でしたが、2年目からは後輩も入り、研究に費やす時間を多く確保することが出来ました。養豚の飼料栄養や飼養管理に関する研究はもちろんですが、豚肉の品質に関する研究も行うことができ、学生時代に培った知識や経験を仕事につなげることが出来たと感じています。

その後は、飼料会社に出向して、11年間、養豚用配合飼料の営業に従事しました。飼料会社では、現場の生産者の方々と直接やりとりをしながら、農場の課題と向き合う日々を送りました。日々の業務の中では、研究所で得た基礎的な知識や経験が役立つ場面が多くありました。大変なことも多かったですが、取組の成果が出たり、農場の方に感謝の言葉を頂いた時など、非常にやりがいを感じる事が出来ました。また、全農グループが開発したHPC加工原料^{*}を配合した豚人工乳や豚糞低減飼料なども高く評価されていることを実感できました。

養豚は、養牛や養鶏といった他畜種と比べても、業務に必要な項目が多岐に渡り、数多くの知識や経験が必要な畜種なのではないかと感じています。育種、繁殖、肥育、飼料、豚舎、環境、衛生、糞尿処理、経営、豚肉販売など、現場の課題は数多いですが、その分、様々な経験も積むことが出来ると思います。幅広い興味があったり、多くの経験を積みたい、という方には、様々な学びを与えてくれる産業であると思います。

^{*}HPCとは「Hi-Processed-Cereals」の略称であり、HPC加工原料とは、特殊な加工技術により植物由来の原料が持つ栄養価値を最大限引き出す、全農グループ独自で開発した製法によって加工された原料です。

現在所属している部署は、各研究所と連携して商品の開発する部署でもあります。種豚の育種改良をはじめ、養豚用配合飼料や養豚飼養管理技術の開発を通して、今後も、養豚生産者の皆様に少しでも貢献できるよう、日々の業務と向き合っていきたいと思います。